

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)説明・問診用紙

予約日時: _____ 年 _____ 月 _____ 日 () _____ 時 _____ 分

確認項目

1. 検査予定時刻の20分以上前に受付にお越し下さい。この用紙も提出して下さい。
2. 検査前日の食事は午後9時までにお済ませください。(夕方の検査の場合は8時間前までに)
3. 当日は絶食ですが、水や透明なお茶は1時間前まで飲んで頂いて結構です。
4. 以下の疾患がある方はチェックや○をつけてください。
()心臓の病気(狭心症、心筋梗塞、不整脈、動悸、ペースメーカー)
()閉塞隅角緑内障、()前立腺肥大、()褐色細胞腫
5. キシロカインアレルギーと言われたり、歯科の**麻酔**で気分が悪くなったことがありますか？ (はい・いいえ)
6. 鎮静剤や鎮痛剤を使用して頭痛や気分が悪くなったことがありますか？ (はい・いいえ)
7. 以下の薬剤を使用している方はチェックをつけてください。
()心臓の薬(→検査当日も内服してきてください)。
()血圧の薬(→検査当日も内服してきてください)。
()インスリン、糖尿病の薬(→**検査当日は中止**してください)。
8. 抗血栓剤(血液を固まりにくくする薬、血液をさらさらにする薬)を内服している方
お薬の名前はわかりますか？: ワーファリン、バイアスピリン、プラビックス、シロスタゾール、
その他()
原則として**検査当日も内服を継続**して下さい。2剤以上内服がある場合はご連絡下さい。
9. 女性の方へ: 妊娠していますか？または、その可能性がありますか？ (はい・いいえ)
10. 鎮静剤をご希望される方は
 - 安全のため、**車・バイク・自転車などは、終日ご自身で運転できません**。ご自身で運転される乗り物で来られた場合は、鎮静剤は使用できませんので、鎮静剤を使用しないかまたは検査を延期させていただくことがあります。
 - 原則として、80歳以上で鎮静剤を希望される方は、安全のため付き添いの方と一緒にお願いします。
 - 鎮静剤使用後は、しばらくリカバールームで休んでいただきます。休んでいただく場所は男女の別はありませんが、出来るだけプラバシーには配慮いたします。
 - ヒールの高い靴は転倒の危険がありますので避けて頂く方が安全です。
11. 検査中には
 - 血圧を上腕で測定します。分厚い上着は脱いで頂く可能性があります。
 - 血中の酸素を測る機械を指先に装着します。マニキュア等は(左右1本ずつの指は)つけしないで下さい。
 - 口からのカメラの場合、マウスピースを装着します。口紅を落として頂き、義歯は原則として外して頂きます。
12. 色素検査(青や茶色の液体を散布する)をする場合があります。その場合に服装に色素が付着する可能性がありますので、汚れてもよい服装でのご来院をおすすめいたします。
13. 診療の状況により検査時間が遅れたり、順番が前後する場合がございます。
14. 当院のホームページに検査内容の説明がありますので参考にしてください。

問い合わせ: お電話 073-423-7666

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ) 説明同意書

★方法

1. 胃の中の泡を減らす水薬を飲んで頂きます。
2. 鎮静剤を使用する場合、血管注射をします。
3. のどや鼻に麻酔をかけます(麻酔のゼリーやスプレー、氷などを使用します)。
4. 内視鏡を口または鼻から挿入し、食道・胃・十二指腸を観察します。
病変があれば、病変や粘膜の一部をつまみ取り、組織検査をします。



★偶発症 日本消化器内視鏡学会によるアンケート調査によると、以下の報告があります。

出血・穿孔等の偶発症:1万人に1人 検査による死亡: 50万人に1人
のどの麻酔による死亡:1000万人に1人 鎮静剤による死亡:10万人に1人

★経口内視鏡、経鼻内視鏡について

口からのカメラは1cm程度の太さです。画質や操作性が良いこと、比較的早く検査が終わることが長所ですが、嘔吐反射があることが短所です。鼻からのカメラは6mm程度です。嘔吐反射が少なく鎮静剤が不要であるため院内滞在時間が短く、運転も可能なことが長所ですが、画質や操作性がやや劣り、少し時間がかかることが短所です。過去にピロリ菌感染があった方や、内視鏡治療歴がある方では、精細な観察が望ましいため口からの内視鏡をお薦めします。

以上を理解した上で、()口からのカメラを希望します。()鼻からのカメラを希望します

★鎮静剤について (鼻からの検査の場合、嘔吐反射は強くないため基本的には鎮静剤は使用しません)

口からの検査の場合、嘔吐反射等のため検査を苦しく感じます。一方、鎮静剤を使用すると検査を楽に感じます。薬のため眠くなること多いですが、効き具合には個人差があります。特に不眠の薬やお酒を飲む場合には眠くならないことが多いです(それでも使用しないよりは楽という方が多いです)。副作用として、血圧低下や呼吸状態の悪化がありますので、安全の為に検査中は血圧や血液中の酸素の量をモニターします。**※車などの運転は当日はお控え下さい。**高齢者、高度肥満の方、妊婦、重症筋無力症、閉塞隅角緑内障などの方は鎮静剤が使用出来ないこともあります。

以上を理解した上で、鎮静剤を:()希望します。()希望しません。

★抗血栓薬(血をサラサラにする薬)について

当院では、日本消化器内視鏡学会のガイドラインに基づき、内視鏡観察や生検(組織検査)は抗血栓薬を内服したまま施行いたします。出血するリスクが少し上がる可能性があります。抗血栓薬の中止により、抗血栓薬を必要とする疾患が悪化することが懸念されるためです。ただし、2剤内服されている方は相談が必要です。

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)につき、上記説明文を理解しました。その上で、検査の実施を希望します。なお緊急の場合または医学上の必要性がある場合、他の必要な処置を受けることも同意します。

年 月 日 氏名